

いつも青い空のもとで すごせるように

「世界のみなさまがいつも青い空のもとで健やかにすごせる社会づくり」をブランドビジョンに掲げる田中電気研究所。その歴史は1949年にまで遡り、電気試験装置の研究・開発から始まりました。3世代にわたり、放射線監視機器のOEM 製造や煤塵の連続監視のためのダスト濃度計を数多く製造。大気環境の安全・安心を計測器の視点で“見える化”できる環境機器メーカーとして、住みよい社会づくりの一翼を担ってきました。

環境関連事業では、ブランドバリューとして電力発電事業や基幹産業の持続性を支える環境監視専門家という立場で、発電と燃焼の効率化課題を「ダスト」の側面から解決することに挑戦してきました。

また、2018年1月には日本初の JIS (Japan Industrial Standard) 規格であるダスト濃度計の性能評価方法 JIS B7996 の制定に至りました。その規格作成に使用した弊社製ダスト濃度計 DDM-2001を含む環境関連事業ブランド・TAPS^{*}は、優れた性能 (ノンサンプリング式光散乱方式) を備え、地球の環境問題に取り組む世界のパートナー達と共に、切れ目のない環境改善に貢献しています。

これからも、「地域に共存するすべての人たちと共に持続可能(サステイナブル)で健康豊かな住みよい社会」の実現に向けて尽力いたします。

^{*} **TAPS** (Tanaka Atmospheric Protection System)